

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	398	地域交流促進事業経費	会計	01	一般会計
基本施策	39	部落差別の解消に向け、同和行政を推し進める	款	03	民生費
担当部課名	人権政策部 八幡町市民館		項	03	同和行政総務費
作成者氏名	安永 幸二	連絡先	目	02	隣保館費
			細目	102	隣保館管理経費
			細々目	01	地域交流促進事業経費

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を) 館対象地区住民及び周辺地域住民	成果(どうなるのか) 地域住民の生活支援と自立促進を推進するとともに、周辺地区住民との交流促進が図れる。
本年度事業内容	① 八幡町市民館の休日開放（土曜日）し、健康器具ヘルストロンの利活用を図る。 ② 隣保館運営費補助金事業により、各種講座の実施	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 (委託先:) <input type="checkbox"/> 民間委託等	根拠法令・要綱等 伊賀市隣保館条例
市内の類似施設		

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.4	0.4	0.4
	人件費合計(A)	2,880	2,880	2,880
②支出内訳(千円)	事業費(B)	433	428	428
	委託料			
	報償費	418	388	388
	委託料 その他	15	40	40
合計(A+B)		3,313	3,308	3,308
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	95	96	96
	地方債			
	受益者負担 その他特財	63	65	65
一般財源		338	332	332
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
教室講座の開催	回	20	20	20			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
教室講座への参加者数	講座への参加者数を指標とした	人	59 (目標)	65	70
			(目標)		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

実効ある事業の推進とともに効率的な運営について、地域の実情を考慮するなかで関係機関団体等との協働を視野に入れて考えていきたい。

評価	必要性	3	部落解放の拠点として地域に密着したコミュニティセンターとしての機能を果たしていく中で、地区市民センター等の関連施設との連携を考えながら、拡大を図っていきたい。	総合評価 D
	有効性	3		
	達成度	2		
	効率性	2		